



「一人一人にスポットを当てる」

園長 河原 宏子

子供たちは、2月13日（木）の「生活発表会」に向けて、物を作ったり、描いたり、歌ったり、踊ったり、話したり、手伝ったり、助け合ったり、協力したり、心を合わせたりの体験が毎日続いています。初めて行う4歳児のゆり組も劇遊びに取り組んでいます。3階のホールで劇遊びをする中、私は観客として見せてもらうことになりました。親しんできた絵本を題材にした劇遊びです。本物の動物の動きのように、這いつくばる動きや、物を食べている様子を表現しています。子供たちの演技力、表現力には恐れ入りました。

劇遊びが終わっても、楽しい遊びは続いています。動物の動きになって這いつくばりながら保育室へと戻って行く子もいます。這いつくばって動いているAさんに、「本物の動物のような動きだね」「動物のことよく見ているんだね」と話しかけると、Aさんは笑い顔になり、「わたし、動物になるの上手なんだよね」とつぶやきながら保育室へと戻って行きました。

幼児にとって、自分にスポットが当たることはうれしいことです。うれしさや喜びは自信につながります。自信は意欲、やる気を引き起こし、本来その子が持っている力が発揮されます。スポットを浴びたAさんの姿からそのことを実感しました。そして、その人の「よさ」を見付けられないと、スポットを当てることができないことにも気付かされました。その人の「いいところ探し」が大切なのです。

普段見過ごしてしまうようなことの中に、見方を変えたり、スポットの当て方を変えたりすることで、価値あるものに見えることが、実はたくさんあるのだということを感じます。緑幼稚園の子供たち一人一人にしっかりとスポットを当てて、教育活動を実践できる幼稚園づくりをしていこうという思いを強くしています。子供たちの日頃の遊びや友達とのやり取りの中にある価値を見逃さず、学びにつなげてまいります。

ご家庭でも、お子さんの「よさ」を探して、スポットを当ててまいります。子育ての黄金時代はさらに輝くと思います。



今月のねらい

<年少ゆり組>

- ・自分の思いや考えを表現したり、相手の気持ちを聞いたりしながら遊びを進める。
- ・自分の力を発揮する喜びや、学級の友達と一緒に活動する喜びを感じ、意欲的に取り組もうとする。

<年長すみれ組>

- ・共通の目的に向かって、最後まであきらめずに取り組み、やり遂げる満足感や達成感を味わう。
- ・生活に見通しをもって、自分たちで主体的に取り組み、自信や意欲をもつ。

園だよりや幼稚園での最近の様子をホームページにて配信しています。ご覧ください



緑幼稚園 HP
QRコード